

「都市づくりのグランドデザイン」改定のポイント

改定の背景・必要性

○「都市づくりのグランドデザイン」を平成29年度に策定以降、**東京を取り巻く社会経済情勢はこれまでになく急激に変化**

【策定以降の主な変化】

- ✓ 生成AIを始めとした**技術革新**の急速な進展に伴う人々の**暮らし方や働き方**
- ✓ 新型コロナウイルスを契機とした**都市のゆとりや空間**に対する考え方
- ✓ 切迫する**首都直下地震**や**気候変動**に起因した水害の頻発化・深刻化 等

➡ **時代の変化にしなやかに対応しながら、新たな都市づくりの方向性を示す必要**



技術革新が暮らしを支援

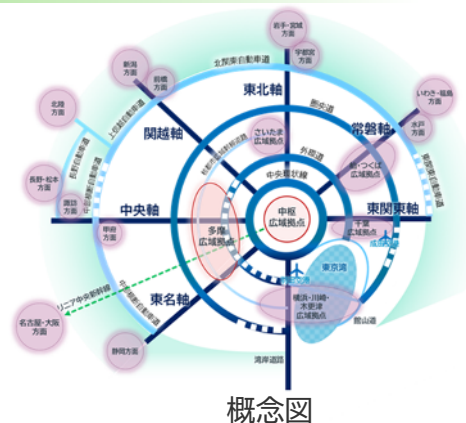


道路空間の活用

改定のポイント

① 首都圏を越えた広域的な連携を促進する「**グレーター東京圏**」

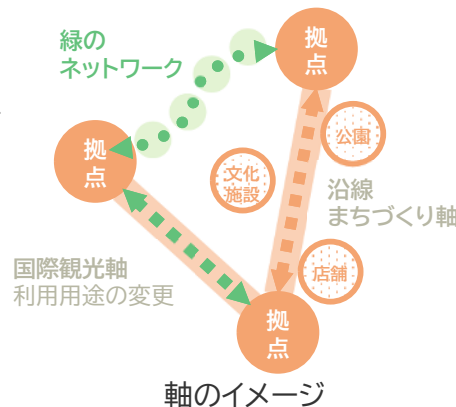
- 広域インフラを活用し、**東京の活力と各地域が持つ強み**を結び付けることで、**相乗効果を発揮**
- 農業、産業、エネルギー、観光、防災など**多様な分野で連携し、新たな価値を創出**



概念図

② 東京ならではの**個性**ある拠点と地域の**軸**を形成

- 自然や文化、産業や商業の集積、下町の風情や歴史的な街並みなど、**地域が持つ多様な特性を最大限に活用し、魅力を向上**
- 複数の拠点等を緑と水のネットワークや公共交通で結び、相互に刺激し合うことで、**連続的なにぎわいの創出や交流を促進**



軸のイメージ

2050年代に向けた都市づくりの方向性

① 都市づくりの3つの視点

- **個性の磨き上げ**
既存ストックも活用しながら、地域の個性を磨き上げ、魅力を向上
- **人中心のまちづくり**
価値観等の多様化を踏まえ、人中心の視点でまちづくりを推進
- **交流・連携の強化**
多様な地域との結びつきを深め、日本の持続的な成長を牽引

② 主な政策方針

- (戦略1・政策方針4)
➢ **臨海部**が区部中心部と一体的に発展し新たな価値を創造する
- (戦略2・政策方針8)
➢ **道路や駅を人中心の空間に再編し交流とにぎわいを広げる**
- (戦略3・政策方針13)
➢ **激甚化する水害**に負けない都市を実現する
- (戦略4・政策方針19)
➢ **酷暑**に強い都市環境を実現する
- (戦略5・政策方針24)
➢ **東京の魅力を生かした多様な住まい**を実現する
- (戦略6・政策方針27)
➢ **あらゆる場所で緑**を感じられる都市をつくる
- (戦略7・政策方針33)
➢ **東京ならではの景観を活かし観光都市**としての魅力を高める